

やまだ

議会だより

役場屋上から見た山田湾

No. 121
2008.7.15発行



山田南・北地区青少年健全育成並びに地域安全パレード（役場前）

6 月
定例会

定例会のあらまし

一般会計に2,028万円を追加 — 2P

議決議案ダイジェスト — 3P

町の考えを聞く — 4P

議会アラカルト

飛び出せ青春(山田高校ボート部) — 12P

補正予算審議

一般会計に2,028万円を追加

自動体外式除細動器購入事業などを実施

6月定例会は、6月11日から13日まで3日間の会期で開かれました。一般質問（4部11部）には8人が登壇し、産業振興やふるさと納税制度など幅広く町政について質問。町からは条例の改正、平成19年度の専決処分や平成20年度補正予算など18件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し、3日間の会期を閉じました。

教育委員会 本年度配備する学校は、豊間根小、荒川小、山田北小、織笠小、轟木小、大浦小の6校であり、今回ですべての小中学校に配備される。

海洋センター利用促進事業の内容は

問 県の市町村総合補助金を活用して実施する海洋センター利用促進整備事業の内容は。

答 県の市町村総合補助金の備品が老朽化し、故障・破損が多くなってきたため更新するものである。内容は、シーカヤック11艇、マリンジェット1艇、バナナボート2艇である。

魅力発信事業などの補助金交付時期を早められないか

問 魅力発信事業の事業開

始時期が昨年より早くなった。県にお願いして補助金の交付時期を早めてもらうことはできないか。
企画財政課 市町村総合補助金を受けての事業であることから、どうしても6月の補正となる。
本年度、県からの内示については、例年よりかなり早い時期にもらっている。
合併浄化槽設置補助金を増やす見込みは
問 本年度、合併浄化槽設置補助金を増額し、新たに希望を取る考えはないか。
また、来年度以降については、発展計画にとらわれず、希望する全員に対応できるように補助金を増やす考えはないか。
地域整備課 本年度の補助金10基分に対して、11件の要望があったことから、今回1基分増やした。
追加要望については、本年度実施する予定はない。補助金の増については、来年度の予算編成に間に合う時期に希望を取り、発展計画以上の要望があれば、企画財政課と協議しながら対応したい。



第2回定例会の様子

工場敷地面積に対する緑地・環境施設の規制を緩和

企業立地促進のための条例を制定

企業立地をさらに促進するため、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づき準則を定める条例」が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。この条例により、工場敷地面積に対する緑地及び環境施設の面積の規制

が緩和され、工場の立地がしやすい環境を構築することで、地域経済発展の基盤強化が図られることとなります。
これは、国の「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づき、宮古広域市町村と岩手県などで構成する「宮古・下閉

伊地域産業活性化協議会が作成した基本計画を農林水産大臣及び経済産業大臣に提出し同意を受けたことで、基本計画に定められた集積区域及び集積業種の事業に対して、国から各種優遇（支援）措置を受けられるようになったものです。工場敷地面積に対する規制緩和基準と対象となる区

域は次のとおりです。
▽現行の規制と条例による緩和基準
・現行の規制
緑地20%以上、環境施設25%以上
・条例による緩和基準
緑地15%以上、環境施設20%以上
▽規制緩和の対象となる区域
・田名部工業団地
・羽々の下工業団地
・豊間根地区（新田工業団地と㈱エフビーの用地を含む区域）



企業立地促進のため規制緩和された新田工業団地

議決議案 ダイジェスト

条例関係

- 山田町町税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めること
地方税法等の一部を改正する法律が改正されたことに伴い関係条項の整備の専決処分を承認しました。
- 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例
企業立地をさらに促進するため現行の規制を緩和する条例を制定しました。
- 山田町手数料条例の一部改正
戸籍法が改正されたことに伴い関連する条項を改めました。
- 山田町立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正
国の幼稚園保育料の減免対象が改正されたことに伴い関連する条項を改めました。
- 山田勤労者体育施設条例の一部改正
体育施設のうち屋内アイススケート場及びゲートボール場を廃止するため関連する条項を改めました。

予算関係

- 【平成19年度】
- 一般会計補正予算（第6号）
1,814万円を減額。総額67億5,438万円。
 - 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）
3,610万円を追加。総額26億7,989万円。
 - 老人保健特別会計補正予算（第3号）
1,233万円を減額。総額18億1,341万円。
 - 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
672万円を減額。総額13億3,592万円。
 - 介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第2号）
158万円を減額。総額259万円。
 - 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第5号）
18万円を減額。総額1億4,203万円。
 - 公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
7万円を減額。総額4億832万円。
 - 水道事業会計補正予算（第2号）
374万円を追加。総額2億7,734万円。
- 【平成20年度】
- 一般会計補正予算（第1号）
2,028万円を追加。総額64億3,975万円。
 - 老人保健特別会計補正予算（第1号）
1,254万円を追加。総額1億8,719万円。
 - 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）
40万円を追加。総額1億4,802万円。

その他一般議案・選挙

- 公用車事故（物損事故）に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告
公用車事故に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告を行いました。
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関する専決処分に関し承認を求めること
胆江地区広域行政組合、胆江地区消防組合の脱退と奥州金ヶ崎行政事務組合の事務の一部を岩手県市町村総合事務組合で共同処理するため、規約の一部改正する専決処分を承認しました。
- 岩手県後期高齢者医療広域連合協議会の議員の選挙
欠員（2人）による補充選挙を行いました。



県の河川改修（関口川）に合わせて鉄橋下道路改修（桁下確保）を要望している町道沢田関谷線



佐藤忠暉議員

道路行政

沢田関谷線鉄橋下道路を踏切方式に

踏切新設は困難、道路改修を要望

質問 町では、平成20年度県知事要望項目として、県土整備部河川課に町内2級河川の整備促進について追加要望したいとのことだ。内容は、「関口川河川改修工事について具体的にJR山田線鉄橋部分を明記し、隣接する鉄橋下道路（町道沢田関谷線）も合わせて改修（桁下確保）を要望したい。」

というが、この方法では、これまでと同じように桁下に神経を使わなければならぬし、大雨時には水害の心配もある。それより、道路を線路の高さまで土盛り工事をすれば、車両の高さを気にしないで通行できると思うがどうか。

沼崎町長 線路の高さに道路を設けようとすれば、新

町の考えを聞く

たに踏切が必要となるが、JRは踏切の新設を認めない方針であり、関口川改修事業での道路改修が最善で

あると考える。この事業は県と河川改修の協議を進める中で示されたもので、町では緊急車両がスムーズに往来できるように桁下の高さや幅員の確保を要望している。県は、本年度に設計業務委託を予定しているが、着手年度・完成年度は未定であるため、早期整備を積極的に働きかけていく。

安全対策 長崎街道踏切の歩道拡張 平成22年度に完了予定

質問 長崎街道の歩道を山田南小学校側からJR山田線踏切に向かって右側を歩くと、踏切近くから踏切と川向町側で歩道がなくなり、遮断機が開閉するたびに、人、押し車、自転車、自動車が入り交錯して大変危険な毎日が続いている。JR東日本盛岡支社との打ち合わせが必要であろうが、長崎街道踏切を拡張して歩道を設置し、歩行者や自転車などがスムーズに通ることができるようにしてはどうか。

沼崎町長 長崎街道踏切の拡張については、ご承知のとおり、これまで何度か議員の皆さまから質問を受けている場所である。

町としても現状を憂慮していたことから、県及びJRとの協議を進めてきた。そのかいあって、このたび事業の実施にめどがついた。今後の予定は、平成21年度に設計業務委託を行い、平成22年度に工事着手し、同年度に完了する予定である。



稲川勝憲議員

堤防管理

田子の木橋堤防敷舗装は 河川管理者である県と協議

質問 田子の木橋付近の堤防敷約300mが、町村合併前から未舗装のまま生活道として利用されている。一日も早く現道舗装をして地域住民の交通便利の向上を図るべきと思うがどうか。また、将来の展望も示せ。

沼崎町長 この個所は、県管理の織笠川堤防敷であり、地域住民から時折穴埋めなどの要望を受け、町ではその都度碎石を補充するなど維持管理を行ってきた。堤防敷の舗装については、河川管理者である県と協議する。知っている。

質問 跡浜細浦線は、主に細浦地区や希望ヶ丘団地から織笠小学校へ通学する児童の通学路として利用されている。本路線の織笠小寄りの切り通しの法面保護は、木製の板を使用して土留めがなされているが、近年その板が腐食し土砂が崩落する恐れがある。通学中の児童

安全対策

織笠小児童の通学路補修 放置できない状況、早急に実施

質問 跡浜細浦線は、主に細浦地区や希望ヶ丘団地から織笠小学校へ通学する児童の通学路として利用されている。本路線の織笠小寄りの切り通しの法面保護は、木製の板を使用して土留めがなされているが、近年その板が腐食し土砂が崩落する恐れがある。通学中の児童の安全確保と一般歩行者の事故防止を未然に図るため、早急に補修すべきと思うがどうか。

沼崎町長 現地を確認した結果、放置できない状況であると判断したので、早急に補修する。

質問 細浦地区から織笠小学校へ通学している人数と全校児童数は、

菊地教育次長 細浦地区から通学している児童数は29人で、全校児童数は73人。

質問 各学校の通学路は、どこで指定しているのか。

菊地教育次長 各学校の通学路は、安全性などを考慮しながら、原則として学校長が指定することになっている。

議員8人が一般質問



早急に補修されることになった町道跡浜細浦線（集団下校する織笠小学校の児童）

勤務評価制度の早期導入

職員の意識改革を進める

職員意識改革



山崎泰昌 議員

質問 昨年度に続いて行政の不手際が公になった。不祥事が続くのは執行部や職員に対しての管理体制に不備があるのでは。

沼崎町長 このことを肝に銘じ、職員一丸となって意識の改革や資質の向上をさらに推し進める覚悟である。

質問 工場操業問題の時に「職務の責任と重さを十分認識し、一層気を引き締め正確な事務事業の執行に務める」と謝罪したが、全く実行されていないと町民は受け止めている。

職員に対して年齢ではなく、努力している人、業績のある人にそれなりの報酬、また勤勉ではない人への罰

則といったはつきりとした正当な評価ができていないから、責任感・緊張感が欠けるのでは。

福士総務課長 役所という

のは、昔ながらの風土があり、かつては「親方日の丸」といわれた時期もあった。

しかし、社会情勢の変化により職員の意識も変化しているが、100%変化できていないのも現実であると認識している。勤務評価制度は試行中だが、以前よりは改善もされてきている。公務員の仕事柄、評価の難しい点もあることから、さらに職員の意識改革を進めていく。

安全対策

災害時避難所となる体育館屋根修繕を 専門技師と調査しながら対応

質問 各小中学校の体育館は、災害時の避難所となっているが、その施設が雨漏りしているようである。いつ発生するかもしれない災害に備えて、早急な対応をとるべきでは。

町の考えを聞く



災害が発生した場合、避難所となる学校体育施設（船越小学校体育館）

松尾教育長 複数の学校で滴下を認識しているが、雨漏りであるかは確認できていない。原因が不明であることから滴下と表現しているが原因の究明に努力している。

質問 滴下の原因を屋根に

も上から学校側に判断させるのは無理がある。梅雨も近いので、業者を入れて早急に調査修繕をすべきではないのか。

沼崎町長 滴下の原因究明は難しいが、調査をして雨漏りと判明したら早急に修繕するのは当然である。

菊地教育次長 滴下の調査は専門の業者に依頼していない。今後は、内部の専門技師立会いのもとで調査しながら対応したい。



町道認定については、関係課と協議しながら検討することとなった林道赤松線(飯岡地区)



阿部幸一議員

道路行政

林道赤松線を町道認定に

関係課と協議しながら検討

質問 林道赤松線を町道認定できないか。

沼崎町長 林道赤松線は、林道開発事業として整備され、「林道台帳」に登録されているものである。従って町道への所管替えは、今後の維持管理や改良などに国や県の補助導入を見据えた総合的な判断が必要と捉えている。しかし、舗装改良以来、交通量の増加や沿線

への住宅の建設など環境の変化が著しいこともあるため、これらも含めて検討課題としたい。

質問 最近では、織笠方面からの交通量が多くなり、利用している町民から道路の幅を広げてほしいとの要望がある。国なり県に早期に要望して、宅地が張り付く前に町道認定して、全幅5mの道路にする努力をする

議員8人が一般質問

質問 一般廃棄物の許可業者4社の中で、個人から法人に変更したものはないと思うがどうか。

沼崎町長 現在、一般廃棄物の許可業者は4社であり、すべて法人である。このうちの2社については、平成8年と平成17年に法人成りしている。

質問 宮古地区広域行政組合で平成17年から一般廃棄物処理の委託が始まった。入札を行った時点は個人であったが、その後、法人となっている。この業者につ

廃棄物処理

法人化した廃棄物処理業者は

許可後2者が個人から法人に

いては、町から他の業務でも委託を受けており、当初から法人になるといううわさがあった。法律的には違法性はないが、対外的に見るとやはり好ましくないのではないかと。これは町民の声である。今後、このようなことが起きないように配慮すべきと思うがどうか。

民生生活課長 法令などに照らし合わせて委託契約が成立しており問題ないと認識している。今後、法令にのっとり広域行政組合と協議しながら進めたい。

べきではないか。

宇澤産業振興課長 林道赤松線については、山田側で

宅地化が進んでいることから、今後については、町長、町道担当の地域整備課と協議しながら検討したい。

質問 冬場は大変である。国なり県に働きかけ早急に対応してほしいが。

宇澤産業振興課長 誠意をもって対応したい。



三ヶ尻隆雄議員

畜産振興

畜産農家に対する支援は

状況により指導を重ねている

質問 農協合併に伴った畜産農家の支援と堆肥センターの今後の運営見通しは。

沼崎町長 昨年の春以降、本年5月1日の合併まで、農家現場では急激な変化に混乱が続いている。刻々と変わる現場の悩みに対して、状況に合わせて支援、指導を重ねている。JAみやこの合併方針に従い、取引を停止された農家があるのは事実ですが、それでもまだ牛が厩舎にいたるのも事実である。現在、新組織となつて間もないこともあり、新たな事業計画を議論するのは難しい状況であるが、私からの新岩手農協組合長へ

の要請、事務レベルでの協議など可能な限り対応している。

堆肥センターの経営計画については、指定管理者の協定に基づき毎年提出してもらい、実績も毎月把握している。JAの子牛委託新規導入停止が続いている現状では、今後半年間でさらに200頭ほどの減が確実である。

現在、JAの取引可能農家への新規導入、JA以外での肥育事業の可能性などについて、農家のカウンセリングを重ねながら関係機関の情報収集や働き掛けを行っている段階である。

施設整備

川の駅を豊間根に 河川を管理する県と協議

質問 道の駅は船越地区ですが、川の駅を豊間根地区に計画してはどうか。

沼崎町長 「川の駅」は、川を通じた人の出会いと交流を促進するため、船着場などに休憩場所を設け、来訪

町の考えを聞く



「川の駅」について河川を管理する県と協議することになります（繋地区の津軽石川）

者に地域情報を発信したりする施設で、カヌーや釣りなど娯楽の提供に加え、災害時の避難場所の役割も期待される施設である。

去る5月11日、「川の駅」の普及に向けて、自治体の

首長で構成する全国組織の推進協議会と市民団体関係者を中心とする推進実行委員会が発足し、各地の自治体と連携して「川の駅」を整備していくこととし、また、自治体の財政負担を軽減するため、既存の施設の活用を中心とする方針を掲げている。

今後は、豊間根地区の1年を通じた河川の状況と、「川の駅」としての適地を考慮しながら、河川を管理する県と協議してみたい。



山田湾内の養殖いかだの様子



山崎幸男議員

産業振興

産業振興基金の創設を

財源確保が課題、検討が必要

質問 産業振興と産業振興基金の創設について問う。

①町内の漁協が個々に策定した地域営漁計画は、今後どのように活用されるのか。また、町は漁協の取り組みを支援すべきではないか。

②農林水産業は、本町経済の基盤産業として最も重要な産業であり、産業振興基金を創設、活用しな

から産業振興に努め、所得の向上を図るべきではないか。

沼崎町長

①平成19年度に各漁協が策定した地域営漁計画に基づき、山田湾の密殖緩和による高品質のカキづくり、春ガキの出荷、ワカメの出荷方法の改善、施設の優先配分による後継者育成、産直ルートの開

議員8人が一般質問

拓などに取り組む漁業者に対し、関係機関と連携を密にして支援していく。

②基金の創設については、

特定の目的のために準備された元手となる資金で、この資金の運営による収益によって事業費を賄うことが基本である。質問の産業振興基金創設には、新たに積み立てるための財源確保が課題でもあり、今後、検討が必要であると考える。

財源確保

「ふるさと納税」制度の導入は

積極的に活用、PRに努める

質問 08年5月から始まった「ふるさと納税」は、故郷の自治体に寄付した場合に居住地の住民税と所得税が控除される仕組みになっている。本町でも寄付の用途を明確にし、大都市圏に住む地元出身者から理解をいただき寄付を集めて行政サービス向上のため、「ふるさと納税」制度を積極的に導入すべきと考えるが見解を問う。

的に導入し、用途を(1)産業振興、(2)環境、(3)地域福祉、(4)子育て支援、(5)文化・教育、(6)地域づくり、(7)寄付者希望事項、(8)町政一般とし、寄付しやすい環境を整えるとともに、町のホームページへの掲載や広報やまだの活用、家族から町外在住者への発信、ふるさと山田同郷の会への働きかけなど効果的な方法を検討し、関係課が連携を取りながらPR活動に努めたい。



豊間根信議員

行政改革

住民サービスの向上について

職員個々の意識改革一層図る

質問 昨年の6月議会にも同様の質問をしたが、1年を経過してどのような向上と実績があったか。今後どのようにサービス向上の取り組みをしていくか、もしクレームなどがあればその実例と対応を含め問う。

沼崎町長 随時、職員との懇談会を行うなど機会あるごとに行政サービスの向上に向けて職員の意識改革に努めてきた。「町民の目線に立った行政サービスを心掛ける」ことは徐々に浸透しつつあるものと理解している。限られた財政・人員の中で効率的な行政サービスを維持するために、職員個々の資質向上や意識改革を一層図っていく必要がある。クレームについては、町ホームページや手紙あるいは電話で、職員の対応な



「町民の目線に立った行政サービス」を心がけ職務に専念する住民生活課職員

町の考えを聞く

産業振興

町の活性化を図る計画は産業活性化推進協議会立ち上げ検討

ど数件の意見をいただき、その都度職員から状況を聞き改善策を講じている。

質問 「ニア・イズ・ベター」

というカッコ書きをつけるような言葉を使う事が住民目線に立っていないのではないか。ホームページのクレームなどもすぐに削除せず真摯に受け止めてはどうか。

福土総務課長 住民の目線に立ち法令順守を心掛けるなど意識改革をし、職員個々が窓口であると認識し職務に励んでいく。

質問 先日ついに人口が2万人を切る、恐れていた現実面に直面した。今後、考えられる以上の加速度をもって人口減が進んでいくのではないかと危機感を持つ。少子化対策、高齢者対策、限界集落問題など、町の活性化のためどのような計画をもって対応していくのか。

沼崎町長 少子高齢化は、地域の活力低下を招くとともに、医療や保健、福祉分野への需要増大が懸念される。そのため、担い手育成

や健康づくりを重視し、地域で支え合う福祉の充実を図っていく。地域活性化については、産業振興が重要であると考え、産業活性化推進協議会を立ち上げ活性化策を検討していく。

質問 前年より話しているが、形だけの住民協働ではなく真の協働を考えなければならぬのではないかと。

福土総務課長 まずは住民協働は必要である。われわれ職員ともに汗を流して協働を実践していく。



佐藤照彦議員

産業振興

産業振興基金の創設を

検討が必要である

質問 産業振興について問う。
①漁協合併協議の状況と漁業権の更新に向けた漁協の協議状況は。

②財団法人さんりく基金は本年度から観光や食品関連の業者を支援する新たな事業に乗り出した。本町からこの基金に申請した業者は。

本町でも産業振興基金を設け、地場産業の振興を支援すべきでは。

③山田湾への人工ナマコ放流試験は、いつ、どこに、どれくらい放流されるのか。カキ、ホタテ殻で漁場造成し、ナマコの増産につなげるべきでは。

④農・漁業の担い手育成の一つとして、新規就業者の参入・定着を支援する

ため、月15万円を3年間支給する「就業者支援制度」を確立すべきでは。

沼崎町長

①船越湾を除く4漁協で先行合併の協議を進めることになった。区画漁業権免許に向け、大浦漁協が大浦崎漁場の区域拡大を申請している。

②採択された事業に参加した町内業者は、3業者あった。産業振興基金については検討が必要である。

③6月から7月に山田湾口の黒崎付近に3万個を放流する予定。青森県の結果を待って慎重に対処したい。

④現行制度の利用を図りながら、県・関係団体と問題点を整理していく。

教育行政

学校耐震化補強工事の国庫補助増額は

今後の動向を注視したい

質問 政府は、大規模地震で倒壊の危険性が高い全国の学校施設約1万棟について、市町村による耐震化事

業を加速させるため、補強で2分の1、改築で3分の1となつている国庫補助率をそれぞれ3分の2、2分

の1に引き上げることを決めた。本町が本年度実施する補強工事は、すべて増額の対象となるか。
松尾教育長 この件に関する国・県からの通知は入っていない。県に問い合わせたところ「国からの情報がないのでどうなるか分からない」との回答だった。今後の動向を注視したい。



学校耐震化補強工事は船越、織笠、山田南、山田北、大沢の5つの小学校で実施されます(昭和50年に建設された織笠小学校)

議員8人が一般質問

明日の山田を担う

飛び出せ
青春③



主将
阿部友代さん

山田高校ボート部

埼玉インターハイ
出場メンバー



—目標(夢)は—

この夏の埼玉インターハイで優勝することです。去年はダブルスカル(2人乗り)で出場したのですが、予選落ちという結果で悔しい思いをしました。今年は高校最後の夏。ボート競技で一番スピードの出るクオドルブル(5人乗り)で出場します。一生懸命頑張ってきた仲間と一緒に優勝目指して頑張ります。

—山田の未来に望むことは—

山田が元気になることです。今年は、私たちがインターハイで優勝して、皆さんに明るい話題を提供できるように頑張りたいです。



目指せ全国優勝！山田高校ボート部

—山田の好きなところは—

海です。朝練の時の朝風、放課後練習の夕風、穏やかな海もきれいだし、日中の風の強い荒々しい海もかっこいいと思います。私は練習がしやすい静かな海の方が好きですが…。

議員出欠表

●病欠入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
6月11日	第2回定例会	欠席者等なし
6月12日	"	欠席者等なし
6月13日	"	欠席者等なし

明日の山田が見えてくる

皆さんで議会を傍聴しましょう。

9月定例会は、9月下旬に開会の予定です。

あ
と
が
き

▼6月定例会が終了した翌14日土曜日の朝、本県内陸南部を震源とする岩手・宮城内陸地震が発生しました。今なお余震が続いており、しばらくの間は警戒が必要であると報じられています▼被害を受けられた皆さま方にお見舞いを申し上げますとともに一日も早く復旧されるようお願い申し上げます▼幸いにして本町には被害がなかったようですが、もしあのような地震が三陸沖で発生したらと思うと背筋が「ゾッ」とするばかりです▼宮城県沖地震は2033年までに99%の確率で発生するとされており地震や津波など大規模災害時におけるライフラインの確保が重要な課題であると思います▼中国・四川大地震と岩手・宮城内陸地震直後です。いつ発生するかもしれない地震津波災害から尊い生命と財産を守るために、今一度、防災対策についてご家族と話し合ってみてはいかがでしょうか…。(稲川)

議会広報編集特別委員会

議長 昆 生 利 暉
副議長 黒 沢 一 隆
委員 小 黒 林 根 一 隆
副委員 山 崎 泰 昌
員 豊 間 泰 昌
員 稲 崎 泰 昌